

東日本大震災関連のお知らせ

義援金報告 ～皆様からの温かいご支援ありがとうございます～

期 間	金 額
平成 23 年 3 月 14 日～ 7 月 31 日	3,595,906 円
平成 23 年 8 月 1 日～ 11 月 30 日	134,878 円
総 額	3,730,784 円

東日本大震災の義援金を 3 月よりお願いいたしておりましたが、皆様から温かいご協力をいただきました。紙面をもって、心よりお礼申し上げます。

皆様からお預かりした義援金は、社会福祉法人 中央共同募金会に送金いたしました。使途については、関係機関で構成された「義援金配分委員会」により被災者に配分されます。

被災地の一日も早い復旧・復興を願うとともに、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

一宮市共同募金委員会

被災地でのボランティア活動

昨夏、岩手県遠野市の商店街に一宮市民の手による復興を願った短冊や折鶴が隙間なく結び付けられた笹が並びました。シティリペアネットワーク愛知は、東日本大震災の被災者支援活動を行ってみたいがボランティア経験が全くない・・・といった一宮市民の想いを実現するために「遠野元気応援隊」を結成しました。

遠野元気応援隊の目的は 2 つあります。一つは、七夕まつりという文化を持つ一宮市民が東北地方の七夕まつりを応援すること。もうひとつは遠野市に設置された被災地後方支援組織「NPO 法人遠野まごころネット」と連携し、被災地復興支援活動拠点の運営・活動を経験することでした。

「遠野元気応援隊」は総勢 23 名で、社会人、学生に現役をリタイアされた方々など老若男女交えた構成となりました。5 名の学生は 7 月 29 日より順次遠野入りし、昼は大槌町や釜石市での復旧支援活動、夜は遠野商工会の方々と遠野七夕まつりの準備や一宮市民が作った短冊や折鶴を笹に飾り付ける作業を行いました。残りの 18 名は 8 月 5 日の夜に一宮駅をバスで出発し、6 日の昼前に遠野市に到着。その日の夜から遠野夏祭りの運営ボランティアを行いました。7 日は早朝から陸前高田市の「うごく七夕まつり」会場に入り、会場のゴミ拾いや駐車場整備を行った後、正午に地元メディアである東海新報社を訪問し被災時のお話を伺いました。夜は再び遠野七夕まつりのボランティアを行いました。また被災地復旧支援ボランティアを希望された 4 名は遠野まごころネットに残り、7 日は終日釜石市箱崎町で高台にあるお寺への参道の瓦礫撤去作業を他のボランティア約 100 名と共にしました。

7 日の夜に復旧ボランティア隊と七夕まつり応援隊が合流して遠野市を出発。8 日の朝に一宮駅に到着しました。

メディアで流れているボランティア作業は過酷な条件で行われているため、気持ちはあっても現地に足を運ぶことを躊躇していたが、今回参加してみて、ボランティアでもさまざまな形があることが分かったので良かったという感想をいただきました。

また、みなさんこれからも活動を続けたいという声もありましたが、継続して活動を行っていくための受け皿づくりがこれからの課題と言えます。

谷口 庄一

